

平成22年度

# 当初予算を可決

一般会計498億8千万円(前年度比8.4%増)

平成22年第1回定例会は、2月24日から3月25日までの30日間の会期で開催しました。

今定例会では、平成22年度当初予算をはじめ、条例の制定・改正や平成21年度補正予算など議案64件が提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

なお、先の12月定例会で継続審査とした第1次薩摩川内市総合計画基本構想の一部変更については、閉会中に特別委員会を審議を行い、今定例会の初日に、原案のとおり可決しました。

## 一般会計当初予算

平成22年度の一般会計予算額は、前年度比38億6千万円増(8.4%増)の498億8千万円となりました。

平成22年度は、「総合計画下期基本計画」に基づく、「一体化躍動プラン」展開のため、①子育てしやすい環境づくりの推進、②ゴールド集落の再生活動支援、③交通通信体系整備による地域格差の解消、④社会基盤の計画的維持、⑤九州新幹線全線開通による観光・交流の促進の5つの重点項目を中心にした各種施策を積極的に展開する予算となっています。

## 反対論

問題点を含んだ一般会計予算である  
井上 勝博議員

国保加入者の負担を軽減するため、一般会計から国保特別会計への繰出金を増額すべきである。また、職員数を減らすことを至上命題とした指定管理者制度の一層の導入、包括支援センターの民間委託、学校の統廃合の推進などを盛り込んだ予算であり、問題である。

## 賛成論

苦しい財政状況の中で工夫された予算である  
徳永 武次議員

前年度比で約4億円余り減少する見込みとなる市民税を減税補てん債で補うなど、経済が疲弊しているこの時期に市財政規模の圧縮を回避する意思を明確に示した予算となっており、本市の経済活性化、立て直しを最大限に誘因しようとする思いが込められた予算である。

## 一般会計当初予算

